



2023年12月期 第2四半期 決算説明会資料

2023年8月9日

ローランド株式会社



『Gigcaster 8』
オーディオ・ストリーミング・ミキサー

今回発表のポイント

- **上期営業利益計画を達成**
- Dealerの在庫調整影響が長引き、上期売上（セルイン）は計画を下回る
- **セルスルーは概ね堅調**。Dealer在庫は着実に減少中
- Dealer在庫減少に伴うセルインの回復、経費執行の厳選、計画比円安効果等を加味し、
通期業績予想（増収・増益）に変更なし

1 2023年12月期 第2四半期決算概要

2 2023年12月期 通期業績見通し

3 補足資料

1 2023年12月期 第2四半期決算概要

2 2023年12月期 通期業績見通し

3 補足資料

決算のポイント

売上高

460億円

(前期比：+7.2%)

(計画比：-5.5%)

- Dealer在庫の調整が継続し、セルインは伸び悩み
- **全体的にセルスルーは堅調**
- Drum Workshop社（DW社）の新規連結効果

営業利益

42億円

(前期比：-9.0%)

(計画比：+3.8%)

- Dealer在庫の調整により数量は対前期比で減少
- 価格適正化、海上輸送費減少などの**ポジティブ**効果が継続
- 販管費を**適切にコントロールし、計画を達成**

四半期純利益¹

31億円

(前期比：-18.6%)

(計画比：+3.0%)

- 大きな特別損益無し

¹ 四半期純利益は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」を指す

連結業績

- のれん償却前の営業利益率は9.6%

(単位: 百万円)	2022年12月期 上期 ¹		2023年12月期 上期 ²		
	実績	売上比	実績	売上比	前期比
売上高	43,004	100.0%	46,096	100.0%	+7.2%
売上総利益	17,551	40.8%	19,772	42.9%	+12.7%
販管費	12,874	29.9%	15,516	33.7%	+20.5%
営業利益	4,677	10.9%	4,256	9.2%	-9.0%
(のれん償却前)	4,680	10.9%	4,428	9.6%	-5.4%
四半期純利益 ³	3,927	9.1%	3,195	6.9%	-18.6%

主にDW社買収影響による増加

1 2022年12月期上期の為替レート 米ドル/円：122.90、ユーロ/円：134.30、ユーロ/米ドル：1.093

2 2023年12月期上期の為替レート 米ドル/円：134.87、ユーロ/円：145.84、ユーロ/米ドル：1.081

3 四半期純利益は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」を指す

連結業績（ご参考：DW社の新規連結影響を除外）

- 売上総利益率は**44.3%**。価格適正化を経て、**稼ぐ力は大幅に回復**
- DW社の新規連結影響を除き**営業増益**

(単位: 百万円)	2022年12月期 上期 ¹		2023年12月期 上期 ²		
	実績	売上比	実績	売上比	前期比
売上高	43,004	100.0%	41,935	100.0%	-2.5%
売上総利益	17,551	40.8%	18,587	44.3%	+5.9%
販管費	12,874	29.9%	13,765	32.8%	+6.9%
営業利益	4,677	10.9%	4,822	11.5%	+3.1%
四半期純利益 ³	3,927	9.1%	3,660	8.7%	-6.8%

1 2022年12月期上期の為替レート 米ドル/円：122.90、ユーロ/円：134.30、ユーロ/米ドル：1.093

2 2023年12月期上期の為替レート 米ドル/円：134.87、ユーロ/円：145.84、ユーロ/米ドル：1.081

3 四半期純利益は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」を指す

需要とDealer在庫調整の状況（6月末）

- 主要国での当社製品に対するデマンドはおおむね堅調
- Dealerの在庫はすべての地域で減少しているものの、北米、中国を中心に、まだ在庫の多い状況が継続
- 製品群では特に電子ピアノにおいてDealer在庫過多

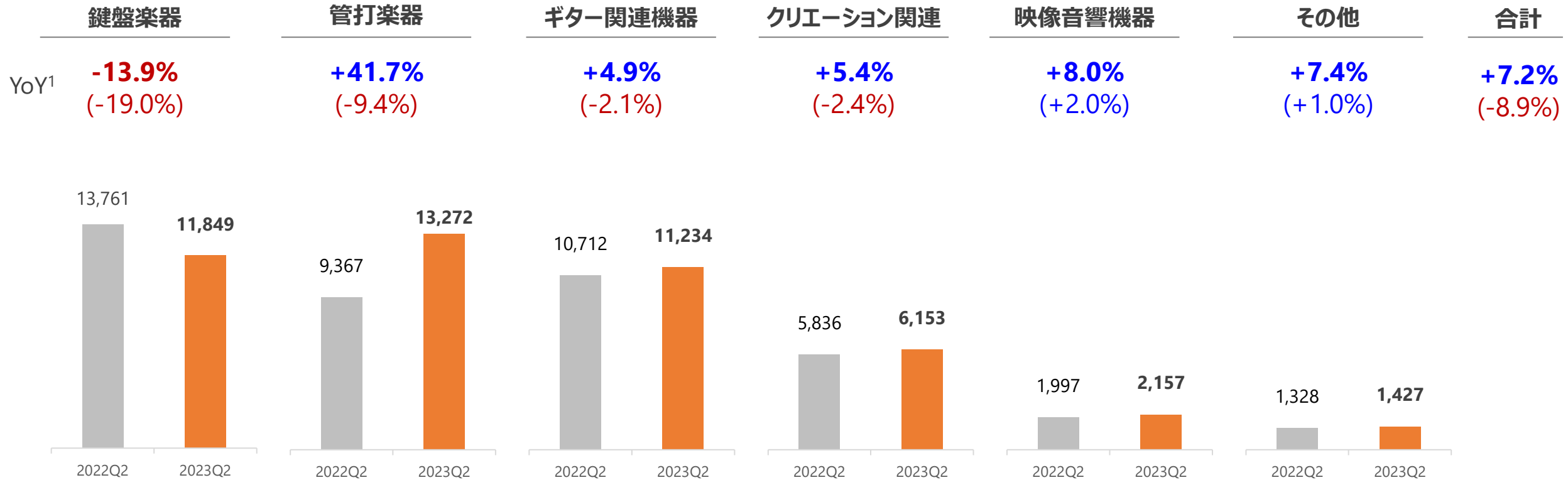
	需要	在庫調整状況
北米	○	△
欧州	○	○
日本	○	○
中国	△	△

	需要	在庫調整状況
鍵盤楽器	△	△
管打楽器	○	△
クリエイション	○	○
ギター関連	○	○
映像音響	○	○

製品別売上高

- 為替の追い風もあり、鍵盤楽器を除き前期比増収
- 実質前期比でのマイナス主要因は電子ピアノ。在庫調整及び、主に低価格帯での需要減少
- 管打楽器は中国市場の停滞影響が継続しているが、全体としてはDW社買収効果で大幅増収

単位：百万円



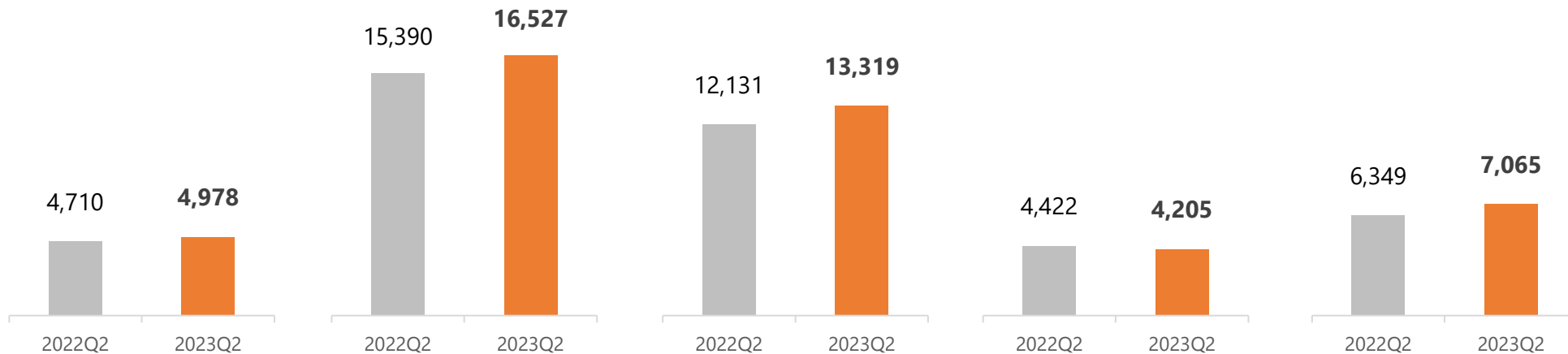
1 カッコ内は、為替影響およびDW社の新規連結影響を除外した比較

地域別売上高

- 為替の追い風もあり、中国を除き前期比増収
- 実質前期比でのマイナス主要因は、北米でのディーラー在庫調整影響
- 中国は6月のWebセールが好調に推移。徐々に回復の兆し。ドラム教室縮小の影響はあるが、電子ピアノは大変好調。
- その他地域では、インド、インドネシア、中南米などの新興国は好調

単位：百万円

	日本	北米	欧州	中国	その他	合計
YoY ¹	+5.7% (+4.3%)	+7.4% (-20.3%)	+9.8% (-1.7%)	-4.9% (-8.3%)	+11.3% (-5.1%)	+7.2% (-8.9%)



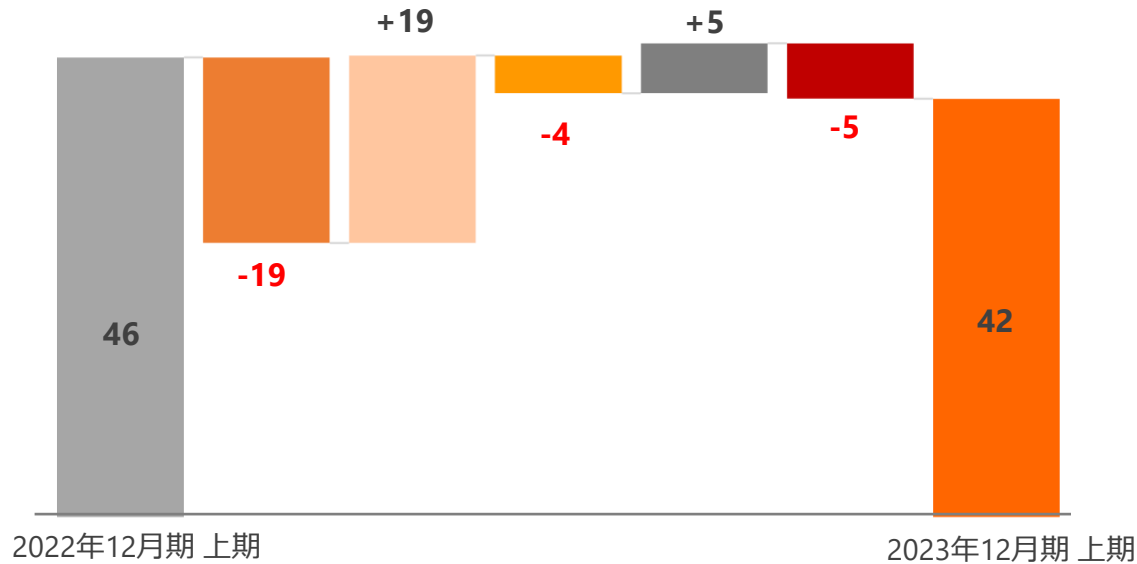
1 カッコ内は、為替影響およびDW社の新規連結影響を除外した比較

連結営業利益

増減 (対前期比)

(億円)

- 販売数量変化
- 売価/原価変動
- 販管費増減
- 為替影響
- DW社新規連結影響



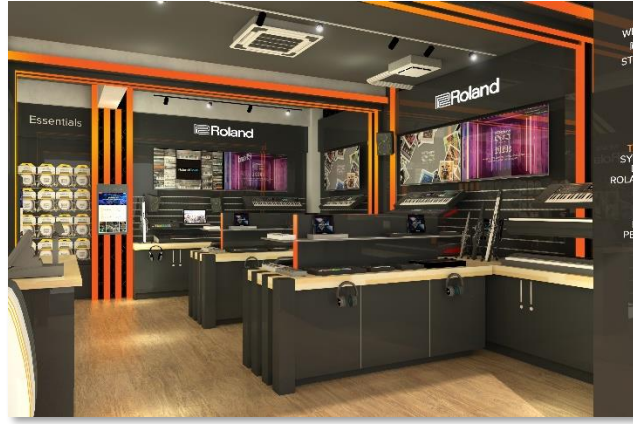
主な要因

- **販売数量変化**
 - ✓ Dealer在庫の調整によるセルイン減少
- **売価/原価変動**
 - ✓ 原材料価格は高止まり
 - ✓ 価格適正化効果
 - ✓ 海上輸送費の減少
- **販管費増減**
 - ✓ 人件費、旅費交通費等の増加
- **DW社新規連結影響**
 - ✓ 新製品関連費用等の先行投資

中計進捗トピックス：Roland Retail 戦略

Roland Store Tokyo 出店決定

- ロンドンに続き第2号店となる直営店を東京（原宿）にOPEN（10/1予定）



住所：東京都渋谷区神宮前4丁目25番37号
面積：150 m² (店舗部分)

B1F：ギター関連機器、電子ドラム
1F：シンセサイザー、グッズ、アクセサリ等
2F：電子ピアノ



URL: <https://rolandstoretokyo.com>

中計進捗トピックス：基盤強化

東京オフィス移転（秋葉原⇒お台場）

東京都港区台場2-3-5 台場ガーデンシティビル12階



ねらい

- 従業員エンゲージメントの強化
- コスト削減
- 営業部門以外の東京拠点としても活用予定



中計進捗トピックス：第2四半期発表の主な新製品

鍵盤楽器

ポータブル・キーボード

- 本格的で多彩な音色や、自動伴奏などのさまざまな機能を備え、気軽に演奏を楽しめるスタイリッシュでリーズナブルな**ポータブル・キーボード**



『E-X10』



映像音響機器

AVミキサー

- ビジネス会議やウェビナーなど動画配信に最適な**コンパクト・サイズのAVミキサー**



『VR-6HD』



- 直感的な操作で本格的な映像演出や音声調整が行える**4K対応AVミキサー**



『VR-400UHD』



中計進捗トピックス：第2四半期発表の主な新製品

ギター関連機器

BOSSギターエフェクター

- 最新テクノロジーとアナログ技術を融合した **ディレイ・マシン**
- 名機「SDE-3000」のサウンドを完全再現した **デジタル・ディレイ・ペダル2機種**



『DM-101』



『SDE-3000EVH』(左)、『SDE-3000D』(右)

BOSSオーディオ・ストリーミング・ミキサー

- 演奏の配信に必要な機能を凝縮したオーディオ・ストリーミング・ミキサー「**Gigcasterシリーズ**」2機種



『Gigcaster 8』(左)、『Gigcaster 5』(右)

クリエイション関連機器 & サービス

シンセイサイザー

- 小型、シンプル操作ながら本格的なエレクトロニック・ミュージックを作り出せる「**AIRA Compactシリーズ**」の新機種



『S-1』

Roland Cloud

Subscriber **25.9k** (+0.9k vs Q1)

Paid User **100K** (+6k vs Q1)

1

2023年12月期 第2四半期業績概要

2

2023年12月期 通期業績見通し

3

補足資料

連結業績予想

売上、営業利益ともに**期初計画（増収・増益）を維持**

売上

1,056億円

YoY +10.2%

営業利益

124億円

YoY +15.3%

連結売上予想

『今期中のDealer在庫調整一巡』 × 『堅調な需要の継続』 × 『円安効果』

上期までの状況



- Dealerの在庫調整によりセルインは想定以下
- 一方、主要市場での当社製品セルスルーは概ね堅調
- Dealer在庫は減少中

下期の見通し



- 堅調なセルスルーに応じ、セルインが徐々に回復
- 最大需要期である年末商戦でも堅調な販売を見込む
- 計画比円安による効果がアドオン

連結売上予想

下期以降も中計施策を着実に実行

需要創造

New Productsによる
顧客の動機付け

- DW社とのシナジー製品等、新製品の継続投入
- BOSS 50周年の活用

シェア拡大

年末需要の取り込み

- Roland Store Tokyo Open
- Channel拡大（非楽器店）
- DW社とのシナジー

連結営業利益予想

期初見通しからのマイナス影響はプラス影響で打ち返し

期初見通しからの変化（要因別）

マイナス影響

- **販売数量、金額¹**
 - ✓ 上期は想定以上の市場在庫調整
 - ✓ 下期もある程度の影響が残る

プラス影響

- **販管費減少**
 - ✓ 経費執行を厳選
(ただし重要な成長投資は維持)
- **原価低減**
 - ✓ 想定以上の海上輸送費等の減少
- **為替影響**
 - ✓ 計画比Positiveに推移

¹ 主に低価格帯製品を想定

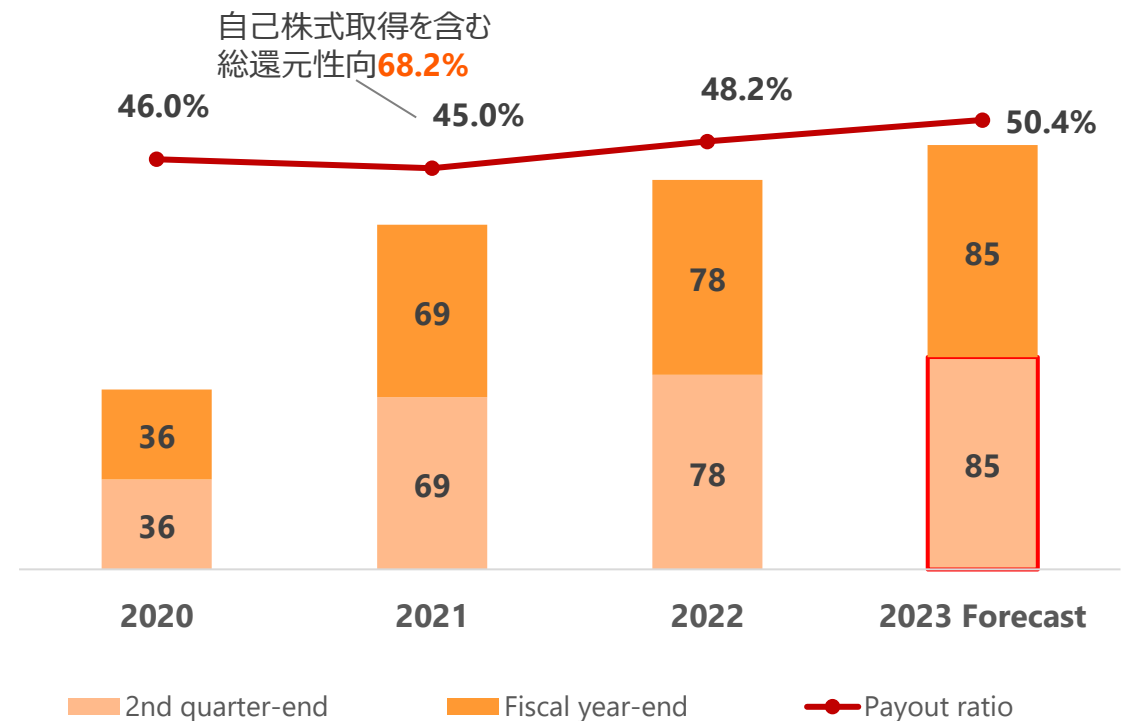
株主還元

- 第2四半期末配当は、利益予想の達成を受け**期初予想通りに増配**を決定
- 期末配当予想に変更なし

一株当たり配当（予想）

- 第2四半期末：**85円**（決定済）
- 期末：**85円**
- 合計：**170円**

配当金および配当性向推移



1 2023年12月期 第2四半期業績概要

2 2023年12月期 通期業績見通し

3 補足資料

主要連結財務数値(PL/指標/BS)

(単位: 百万円)	2022年12月期 Q2	2023年12月期 Q2	(単位: 百万円)	2022年12月期 期末	2023年12月期 Q2末
売上高	43,004	46,096	現金及び預金	10,506	9,993
売上原価	25,452	26,323	受取手形及び売掛金	12,905	11,412
売上総利益	17,551	19,772	棚卸資産合計	32,322	32,753
販売費及び一般管理費	12,874	15,516	その他流動資産	2,167	1,893
営業利益	4,677	4,256	流動資産合計	57,902	56,053
営業外損益	116	-243	有形固定資産合計	7,770	8,332
経常利益	4,794	4,012	のれん	3,266	3,384
特別損益	166	-6	その他固定資産	8,117	8,736
税金等調整前四半期純利益	4,960	4,006	固定資産合計	19,154	20,453
法人税等合計	1,029	794	資産合計	77,056	76,506
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,927	3,195	支払手形及び買掛金	5,606	6,755
EBITDA	5,493	5,580	短期借入金	17,700	2,659
D/Eレシオ	0.4x	0.6x	1年内返済予定の長期借入金	1,252	5,894
自己資本比率	51.8%	48.5%	その他流動負債	7,954	7,952
Debt / EBITDA ¹	1.1x	1.6x	長期借入金	7,570	12,467
ROE ¹	24.0%	24.4%	その他固定負債	3,226	3,420
			負債合計	43,309	39,150
			純資産合計	33,747	37,356
			負債純資産合計	77,056	76,506

¹ Debt/EBITDAおよびROEは年換算値

将来見通しに関する注意事項

本資料はローランド株式会社の「将来予想に関する記述に該当する情報」が記載されています。本資料における記述のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来予測に関する記述に該当します。これら将来予測に関する記述は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。これには既知または未知のリスクおよび不確実性ならびにその他の要因が内在しており、実際の業績と大きく異なる可能性があります。実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、当社の事業を取り巻く経済情勢、需要動向、為替相場の変動等が含まれます。